

# かけはし

黄の1組  
～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、黄の1組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園 Web サイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

忍者シリーズの紙芝居を見た子どもたち。クラスの合言葉を考えたり、折り紙で手裏剣を折ったり、忍者のアイテムをつくったりし始めました。「丈夫な段ボールをつかおう」「新聞を重ねたら強くなるよ!」「重りには土を使おう」など、いろいろな素材の特性に気づきながら、忍者の世界をイメージして遊びをつくりだしています。

## ★忍法 変身の術 (手裏剣の的あて) ★

手づくりの手裏剣をつかって的あてをし始めたことがきっかけの遊び。



紙皿を切って羽をいっばいつくろう

「手裏剣、何でつくる?」と、折り紙や紙皿などいろいろな素材で試している子どもたち。



手裏剣を投げるのに、的があった方がいいという意見も出て、段ボール箱で的をつくることに…。



手裏剣を投げて、的に当てることができたら、「忍者に変身できるグッズ(新聞紙の剣など)をもらえる」というルールも生まれ、遊びが発展していきました。

## ★忍法 ゴム飛ばしの術★

変身の術 (手裏剣の的あて) でもらった剣を使って遊び始めたことがきっかけとなって生まれた遊び。



「どの的が倒れやすいかな?」

手裏剣の的あてでもらった新聞紙の剣で戦いごっこを始めた子どもたち。何か別の遊びに使えないかな…と問うと、「鉄砲みたいにもなる!」「(剣に)ゴム(ひっかけて)を飛ばそう」という意見が。輪ゴムを用意してあげるとそれを飛ばし、いろいろな素材を的にして倒し始めました。



「新聞を何枚重ねたら、強くなるかな?」「ゴムを飛ばすなら、短い剣にしないとね!」

輪ゴムをとばすのに適した剣にするには、新聞を何枚も重ねて丈夫にしたり、剣の先を折ったりしないと…と改良も始まりました。



輪ゴムがいろいろな場所に飛びちらないように、「大きい段ボールを壁にしよう!」というアイデアも。的には点数を書き、100点に当たったら景品をもらえるというルールも生まれ、盛り上がっています。

刀術

忍者の紙芝居に出てきた技に挑戦したいという子どもたちの思いから生まれた遊び。



【忍法 網くぐりの術】  
「網を少し高くした方がくぐりやすい!」「本物の忍者になったみたい」と盛り上がっています。



【忍法 トンネルくぐりの術】  
「向こう側が見えないようにしたい!」と新聞紙を割いてつけることにしました。



【忍法 ぴょんぴょんの術】  
紙芝居に出てきた、飛び石を渡る術をイメージし、新聞紙で輪をつくりました。



## ★ 紙を溶かすの術～どんぐりクッキーづくり～ ★

ある子の「ティッシュとトイレトペーパーは同じ?」という疑問から生まれた遊び。

水についたらどうなるか実験することに。結果、「トイレトペーパーの色が黒っぽくなった!」「トイレトペーパーは小さいつぶつぶみみたいになったよ。溶けたみたいにも見える」「ティッシュはくっただけみたい。色は白のまま」と気づいた子どもたち。その後、水で溶かした紙でいろいろな形をつくり遊び出しました。今は、どんぐりをつけてクッキーをつくっています。



## ★ 身近な素材をつかって 修行のあとのご褒美づくり ★

忍者の修行のあとは、「おなかがすく」「休憩したい」「修行をクリアしたらご褒美があると嬉しい」という意見から生まれた遊び。



「あんこたっぷりだね!」「忍法は色々あるよ。たいやき」を紙袋に新聞紙を小さく丸めてつめつけました。



【忍者すし】  
「忍者は日本!日本といえば・・・おすし!休憩におすしを食べられるようにしよう」「回転すしにしよう」と、おすしが回るように工夫しました。段ボール紙、画用紙、折り紙などをつかっておすしが完成!すると「デザートもつくろう。おだんご!」と日本食にこだわったおすし屋さんできました。



【どんぐり金メダル】  
忍者の修行のご褒美に「金メダルをつくらう!」ということに。たくさん集めたどんぐりを活用できないかと試行錯誤し、金色の絵の具でどんぐりに色をつけ、乾かすことになりました。最近使い始めた木工用ボンドをつかい、金のどんぐりに紐をつけ「どんぐり金メダル」にしました。